

表 10-4-2

F3 職業	1 近所に 外国籍の人 が多く住ん でいると治 安が心配で ある・逆	2 外国籍と いう理由でア パートを貸し てもらえない のは仕方がな い・逆	3 外国籍 の人が差別 的な言葉や 行動を受け ることは許 せない	4 職場 に外国籍 の人が増 えるのは 好ましい と思う	5 ハイ トスピー チも言論 の自由だ と思う・ 逆	7 外国 籍の人の 国の歴史 や文化を 尊重すべ きだ
自営業	2.8	3.2	3.2	2.8	3.0	3.3
自由業	2.6	2.6	3.2	2.4	2.9	3.3
公務員・教員	3.0	3.3	3.2	3.1	3.5	3.4
経営者・役員	2.9	3.0	3.4	2.9	3.4	3.4
正規職員	2.8	3.2	3.3	3.0	3.1	3.3
非正規職員	2.7	3.2	3.3	2.8	3.2	3.2
学生	3.2	3.5	3.4	3.3	3.2	3.5
無職	2.8	3.2	3.3	2.8	3.2	3.3
合計	2.8	3.2	3.3	2.9	3.2	3.3

表 10-4-1 と表 10-4-2 より、総じて、公務員・教員、学生が他の職種よりも平均値が高く、外国籍の人の人権に関して意識が高い傾向が見られます。逆に、自由業において平均値が低く、外国籍の人の人権に関する意識が相対的に低い傾向が見られます。

外国籍の人の人権に関する 7 項目の結果から、公務員・教員、学生は、他の職種よりも外国籍の人の人権に関する意識が高い傾向にあると言えます。

地区の違いとの関連を検討したところ、すべての項目において統計的に有意な差は認められませんでした。

**問 11 次の「子どもの人権」に関することがらについて、あなたのお考えを教えてください。  
(それぞれ一つに○をつけてください)**

問 11 は、「子どもの人権」についての考え方を問うたものです。

「1 いじめは、いじめを受ける側にも問題があるのではないかと思う」、「2 親が、子どものしつけのために体罰を加えるのは仕方ない」、「3 教師が、子どもを指導するために体罰を加えることも必要だ」、「4 不登校は本人の甘えも関係しているのではないかと思う」、「8 子どもは大人の言うことに従うことが望ましい」では、「そうは思わない」、「どちらかと言えばそう思わない」という NO であることが、子どもの人権を尊重していることを意味します。「5 地域の居場所づくり（子ども食堂など）の取り組みに参加したい」、「6 大人はもっと子どもの意見に耳を傾けるべきだ」、「7 子どもの中で、父親が母親（または、母親が父親）に暴力を振るったり暴言を吐いたりすることは子どもへの虐待である」では、「そう思う」、「どちらかと言えばそう思う」という YES であることが、子どもの人権を尊重していることを意味します。

表 11-1 によると、「6 大人はもっと子どもの意見に耳を傾けるべきだ」に YES は 90.9%、「7 子どもの中で、父親が母親（または、母親が父親）に暴力を振るったり暴言を吐いたりすることは子どもへの虐待である」に YES は 90% を超えています。しかし、「1 いじめは、いじめを受ける側にも問題があるのではないかと思う」の YES は 30.7%、「2 親が、子どものしつけのために体罰を加えるのは仕方ない」の YES は 25.2%、「3 教師が、子どもを指導するために体罰を加えることも必要だ」の YES は 21.4%、「4 不登校は本人の甘えも関係しているのではないかと思う」の YES は 38.6%、そして、「8 子どもは大人の言うことに従うことが望ましい」の YES は 37.2% と、子どもの人権が尊重されているとは言いがたい実態が明らかになりました。

表 11-1 の右端の数値は、項目への回答を点数化し、平均値を求めたものです。

点数化のために、次のような操作を行います。「1 いじめは、いじめを受ける側にも問題があるのではないかと思う」、「2 親が、子どものしつけのために体罰を加えるのは仕方ない」、「3 教師が、子どもを指導するために体罰を加えることも必要だ」、「4 不登校は本人の甘えも関係しているのではないかと思う」、「8 子どもは大人の言うことに従うことが望ましい」については、「そう思う」1、「どちらかと言えばそう思う」2、「どちらかと言えばそうは思わない」3、「そうは思わない」4 とします。これらの項目については、末尾に（逆）を付しています。また、「5 地域の居場所づくり（子ども食堂など）の取り組みに参加したい」、「6 大人はもっと子どもの意見に耳を傾けるべきだ」、「7 子どもの中で、父親が母親（または、母親が父親）に暴力を振るったり暴言を吐いたりすることは子どもへの虐待である」については、「そう思う」4、「どちらかと言えばそう思う」3、「どちらかと言えばそうは思わない」2、「そうは思わない」1 とします。

なお、2007 年調査では、子どもへの体罰については、「親や教師が、子どものしつけや教育のために体罰を行うことは必要だ」という項目となっていましたが、一応、平均値を併記しています。

子どもの体罰の考え方については、2007年調査よりも2020年調査において、十分とは言えないまでも意識は改善したと評価できます。

表 11-1

	合計	そう思う	言えばそう思う と思われない	言えばそう思う と思われない	そうは思わない	無回答	平均値	調査07年 平均値
1 いじめは、いじめを受ける側にも問題があるのではないかと思う・逆	1420	5.6%	25.1%	34.1%	33.8%	1.3%	3.0	
2 親が、子どものしつけのために体罰を加えるのは仕方ない・逆	1420	3.9%	21.3%	33.0%	40.6%	1.1%	3.1	2.4
3 教師が、子どもを指導するために体罰を加えることも必要だ・逆	1420	3.7%	17.7%	29.9%	47.5%	1.2%	3.2	
4 不登校は本人の甘えも関係しているのではないかと思う・逆	1420	6.8%	31.8%	33.5%	26.5%	1.4%	2.8	
5 地域の居場所づくりの取り組みに参加したい	1420	10.5%	37.1%	34.4%	15.9%	2.0%	2.4	
6 大人はもっと子どもの意見に耳を傾けるべきだ	1420	36.1%	54.8%	6.3%	1.2%	1.6%	3.3	
7 子どもの前で、父親が母親（または、母親が父親）に暴力を振るったり暴言を吐いたりすることは子どもへの虐待である	1420	63.5%	28.8%	4.4%	2.0%	1.3%	3.6	
8 子どもは大人の言うことに従うことが望ましい・逆	1420	2.7%	34.5%	37.6%	23.5%	1.6%	2.8	

表 11-2-1 は、性別による子どもの人権に関する意識の違いをみたものです。

「1 いじめは、いじめを受ける側にも問題があるのではないかと思う」、「2 親が、子どものしつけのために体罰を加えるのは仕方ない」、「3 教師が、子どもを指導するために体罰を加えることも必要だ」、「4 不登校は本人の甘えも関係しているのではないかと思う」、「5 地域の居場所づくり（子ども食堂など）の取り組みに参加したい」、「8 子どもは大人の言うことに従うことが望ましい」については、統計的な有意差が認められました。

表 11-2-2 は、表 11-2-1 において統計的有意差が認められた項目について平均値を求めたものです。

表 11-2-1

		合計	そう思う	言えそう 思わば そう 思う	言えち 思わら ばそう か うと	言えち 思わら ばそう か うと	そう 思わ ない 思 わ	統計的 検定
1 いじめは、いじめを受ける側にも問題がある のではないかと思う	男性	622	7.6%	28.9%	32.6%	30.9%	p=.004 **	
	女性	753	4.2%	23.2%	35.9%	36.7%		
	性別未選択者	12	0.0%	8.3%	33.3%	58.3%		
	合計	1387	5.7%	25.7%	34.4%	34.2%		
2 親が、子どものしつけのために体罰を加えるのは 仕方ない	男性	623	6.6%	27.6%	31.3%	34.5%	p<.001 ***	
	女性	755	2.0%	16.7%	34.8%	46.5%		
	性別未選択者	12	0.0%	16.7%	50.0%	33.3%		
	合計	1390	4.0%	21.6%	33.4%	41.0%		
3 教師が、子どもを指導するために体罰を加える ことも必要だ	男性	621	6.8%	27.2%	27.9%	38.2%	p<.001 ***	
	女性	756	1.3%	10.3%	32.1%	56.2%		
	性別未選択者	12	0.0%	16.7%	25.0%	58.3%		
	合計	1389	3.7%	17.9%	30.2%	48.2%		
4 不登校は本人の甘えも関係しているのではないか と思う	男性	622	10.5%	38.3%	31.8%	19.5%	p<.001 ***	
	女性	752	4.1%	27.4%	35.2%	33.2%		
	性別未選択者	12	0.0%	33.3%	41.7%	25.0%		
	合計	1386	6.9%	32.3%	33.8%	27.0%		
5 地域の居場所づくりの取り組みに参加したい	男性	617	8.9%	33.5%	39.2%	18.3%	p=.003 **	
	女性	748	12.3%	41.2%	32.0%	14.6%		
	性別未選択者	12	8.3%	58.3%	33.3%	0.0%		
	合計	1377	10.7%	37.9%	35.2%	16.1%		
6 大人はもっと子どもの意見に耳を傾けるべきだ	男性	621	33.5%	57.6%	7.4%	1.4%	p=.423	
	女性	751	39.1%	54.1%	5.7%	1.1%		
	性別未選択者	12	41.7%	50.0%	8.3%	0.0%		
	合計	1384	36.6%	55.6%	6.5%	1.2%		
7 子どもの前で、父親が母親（または、母親が父親） に暴力を振るったり暴言を吐いたりすることは子ども への虐待である	男性	620	60.2%	32.1%	5.3%	2.4%	p=.062	
	女性	756	67.3%	27.0%	3.8%	1.9%		
	性別未選択者	12	91.7%	8.3%	0.0%	0.0%		
	合計	1388	64.3%	29.1%	4.5%	2.1%		
8 子どもは大人の言うことに従うことが望ましい	男性	619	4.2%	38.4%	36.7%	20.7%	p=.009 **	
	女性	752	1.7%	32.4%	39.5%	26.3%		
	性別未選択者	12	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%		
	合計	1383	2.8%	35.1%	38.2%	23.9%		

表 11-2-2

F1 性別	1 いじめは、いじめを受ける側にも問題があるのではないかと思う・逆	2 親が、子どものしつけのために体罰を加えるのは仕方ない・逆	3 教師が、子どもを指導するために体罰を加えることも必要だ・逆	4 不登校は本人の甘えも関係しているのではないかと思う・逆	5 地域の居場所づくりの取り組みに参加したい	8 子どもは大人の言うことに従うことが望ましい・逆
男性	2.9	2.9	3.0	2.6	2.3	2.7
女性	3.1	3.3	3.4	3.0	2.5	2.9
性別未選択者	3.5	3.2	3.4	2.9	2.8	3.0
合計	3.0	3.1	3.2	2.8	2.4	2.8

表 11-2-1 と表 11-2-2 より、子どもの人権に関して、いずれの項目についても、女性および性別未選択者よりも男性の人権意識が低い傾向を読み取ることができます。

性別と子どもの人権に関する意識との関連において、男性は、女性と性別未選択者よりも人権意識が低い傾向にあると解釈されます。

表 11-3-1 は、年齢と子どもの人権に関する意識との関連をみたものです。

「5 地域の居場所づくり（子ども食堂など）の取り組みに参加したい」を除く 7 項目において、年齢と子どもの人権に関する考え方との間に関連のあることがわかります。

表 11-3-2 は、表 11-3-1 で統計的な有意差が認められた項目について平均値を求めたものです。

表 11-3-1

		合計	そう 思う	言 え ば そ う と 思 う	ど 思 わ ら な い か い	言 え ば そ う と	ど ち ら か と	そ う は 思 わ ない	統 計 的 検 定
1 いじめは、いじめを受ける側にも問題があるのではないかと思う	10歳代	127	7.1%	21.3%	32.3%	39.4%	p=.043 *		
	20歳代	175	7.4%	26.9%	32.6%	33.1%			
	30歳代	178	5.6%	24.7%	38.2%	31.5%			
	40歳代	194	7.2%	26.3%	37.6%	28.9%			
	50歳代	216	6.0%	26.9%	38.9%	28.2%			
	60歳代	263	2.7%	21.3%	34.2%	41.8%			
	70歳代以上	227	5.7%	31.7%	26.9%	35.7%			
	合計	1380	5.7%	25.7%	34.3%	34.2%			
2 親が、子どものしつけのために体罰を加えるのは仕方ない	10歳代	127	2.4%	8.7%	29.1%	59.8%	p<.001 **		
	20歳代	175	5.1%	14.9%	31.4%	48.6%			
	30歳代	179	6.1%	21.8%	31.8%	40.2%			
	40歳代	194	3.1%	28.4%	34.0%	34.5%			
	50歳代	216	5.6%	22.7%	34.7%	37.0%			
	60歳代	263	2.3%	20.9%	35.4%	41.4%			
	70歳代以上	229	3.9%	27.5%	34.1%	34.5%			
	合計	1383	4.0%	21.5%	33.3%	41.1%			
3 教師が、子どもを指導するために体罰を加えることも必要だ	10歳代	127	0.8%	7.1%	18.1%	74.0%	p<.001 ***		
	20歳代	175	4.0%	8.6%	27.4%	60.0%			
	30歳代	179	6.1%	13.4%	34.6%	45.8%			
	40歳代	194	2.6%	24.7%	33.0%	39.7%			
	50歳代	215	6.5%	21.9%	30.2%	41.4%			
	60歳代	262	1.5%	16.4%	32.8%	49.2%			
	70歳代以上	230	4.3%	26.1%	30.4%	39.1%			
	合計	1382	3.8%	17.8%	30.2%	48.2%			
4 不登校は本人の甘えも関係しているのではないかと思う	10歳代	127	7.9%	29.1%	33.1%	29.9%	p=.001 **		
	20歳代	175	9.1%	27.4%	31.4%	32.0%			
	30歳代	179	8.4%	26.8%	36.9%	27.9%			
	40歳代	194	6.2%	29.4%	36.1%	28.4%			
	50歳代	215	5.6%	34.9%	40.9%	18.6%			
	60歳代	261	5.7%	28.7%	32.2%	33.3%			
	70歳代以上	228	7.0%	45.6%	26.3%	21.1%			
	合計	1379	7.0%	32.2%	33.7%	27.1%			

## つづき

		合計	そう 思う	言 え ば そ う と 思 う	ど 思 わ ら な い と	言 え ば そ か と	ど ち な い	そ う は 思 わ	統 計 的 検 定
5 地域の居場所づくりの取り組みに参加したい	10歳代	127	17.3%	40.9%	32.3%	9.4%	p=.172		
	20歳代	174	11.5%	37.9%	31.6%	19.0%			
	30歳代	179	12.8%	39.1%	33.0%	15.1%			
	40歳代	193	9.8%	36.3%	36.8%	17.1%			
	50歳代	214	7.9%	37.9%	42.1%	12.1%			
	60歳代	260	10.4%	38.5%	34.6%	16.5%			
	70歳代以上	223	9.0%	35.9%	34.1%	21.1%			
	合計	1370	10.8%	37.9%	35.2%	16.1%			
6 大人はもっと子どもの意見に耳を傾けるべきだ	10歳代	126	50.0%	45.2%	4.0%	0.8%	p<.001 ***		
	20歳代	174	49.4%	45.4%	4.6%	0.6%			
	30歳代	179	40.8%	50.3%	7.8%	1.1%			
	40歳代	193	36.8%	53.9%	8.3%	1.0%			
	50歳代	215	27.9%	61.9%	8.8%	1.4%			
	60歳代	262	28.2%	65.3%	5.3%	1.1%			
	70歳代以上	228	33.8%	58.3%	5.7%	2.2%			
	合計	1377	36.6%	55.7%	6.5%	1.2%			
7 子どもの前で、父親が母親（または、母親が父親） に暴力を振るったり暴言を吐いたりすることは子ども への虐待である	10歳代	126	65.9%	19.8%	11.1%	3.2%	p<.001 ***		
	20歳代	175	70.9%	23.4%	1.7%	4.0%			
	30歳代	179	68.7%	26.8%	2.8%	1.7%			
	40歳代	193	68.4%	23.8%	5.7%	2.1%			
	50歳代	216	62.0%	33.8%	2.8%	1.4%			
	60歳代	262	62.2%	31.3%	4.2%	2.3%			
	70歳代以上	230	56.5%	37.4%	5.2%	0.9%			
	合計	1381	64.4%	29.0%	4.5%	2.1%			
8 子どもは大人の言うことに従うことが望ましい	10歳代	127	2.4%	33.9%	40.2%	23.6%	p=.001 **		
	20歳代	175	2.3%	28.0%	37.1%	32.6%			
	30歳代	179	2.8%	30.2%	41.9%	25.1%			
	40歳代	193	2.1%	46.6%	29.5%	21.8%			
	50歳代	215	2.8%	39.5%	37.7%	20.0%			
	60歳代	260	0.8%	31.2%	42.7%	25.4%			
	70歳代以上	227	6.6%	35.2%	37.9%	20.3%			
	合計	1376	2.8%	35.0%	38.2%	23.9%			

表 11-3-2

F2 年齢	1 いじめは、いじめを受ける側にも問題があるのではないかと思う・逆	2 親が、子どものしつけのために体罰を加えるのは仕方ない・逆	3 教師が、子どもを指導するために体罰を加えることも必要だ・逆	4 不登校は本人の甘えも関係しているのではないかと思う・逆	6 大人はもっと子どもの意見に耳を傾けるべきだ	7 子どもの前で、父親が母親（または、母親が父親）に暴力を振るったり暴言を吐いたりすることは子どもへの虐待である	8 子どもは大人の言うことに従うことが望ましい・逆
10歳代	3.0	3.5	3.7	2.9	3.4	3.5	2.9
20歳代	2.9	3.2	3.4	2.9	3.4	3.6	3.0
30歳代	3.0	3.1	3.2	2.8	3.3	3.6	2.9
40歳代	2.9	3.0	3.1	2.9	3.3	3.6	2.7
50歳代	2.9	3.0	3.1	2.7	3.2	3.6	2.8
60歳代	3.2	3.2	3.3	2.9	3.2	3.5	2.9
70歳代以上	2.9	3.0	3.0	2.6	3.2	3.5	2.7
合計	3.0	3.1	3.2	2.8	3.3	3.6	2.8

表 11-3-1 と表 11-3-2 より次のような解釈ができます。

「2 親が、子どものしつけのために体罰を加えるのは仕方ない・逆」、「3 教師が、子どもを指導するために体罰を加えることも必要だ・逆」、「6 大人はもっと子どもの意見に耳を傾けるべきだ」については、50歳代未満では、年齢が低いほど平均値が高くなっています。ただ、「1 いじめは、いじめを受ける側にも問題があるのではないかと思う・逆」、「4 不登校は本人の甘えも関係しているのではないかと思う・逆」、「8 子どもは大人の言うことに従うことが望ましい・逆」については年齢との関連について解釈が難しいです。

上記の結果から、年齢と子どもの人権に関する意識との間に何らかの規則的な関連があるのかという点については結論づけることはできません。

表 11-4-1 は、職種と子どもの人権に関する考え方との関連をみたものです。

「5 地域の居場所づくり（子ども食堂など）の取り組みに参加したい」、「8 子どもは大人の言うことに従うことが望ましい」以外の 6 項目について統計的有意差が認められました。

表 11-4-2 は、統計的な有意差の認められた項目について平均値を求めたものです。